

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：近畿地方整備局道路部地域道路課

担当課長名：田口 定一

事業名	町道 大谷連絡線 <small>おおたにれんらく</small>	事業区分	町道 (半島代行)	事業主体	和歌山県
起終点	自：和歌山県伊都郡かつらぎ町大谷 至：和歌山県伊都郡かつらぎ町大谷 <small>いとぐんかつらぎちょうおおたに</small>			延長	0.9 km

事業概要
町道大谷連絡線は、現在事業中の京奈和自動車道のかつらぎI.Cと一般国道24号を結ぶ新設のI.Cアクセス道路であり、JRとの立体交差を含む延長0.9kmの2車線道路である。

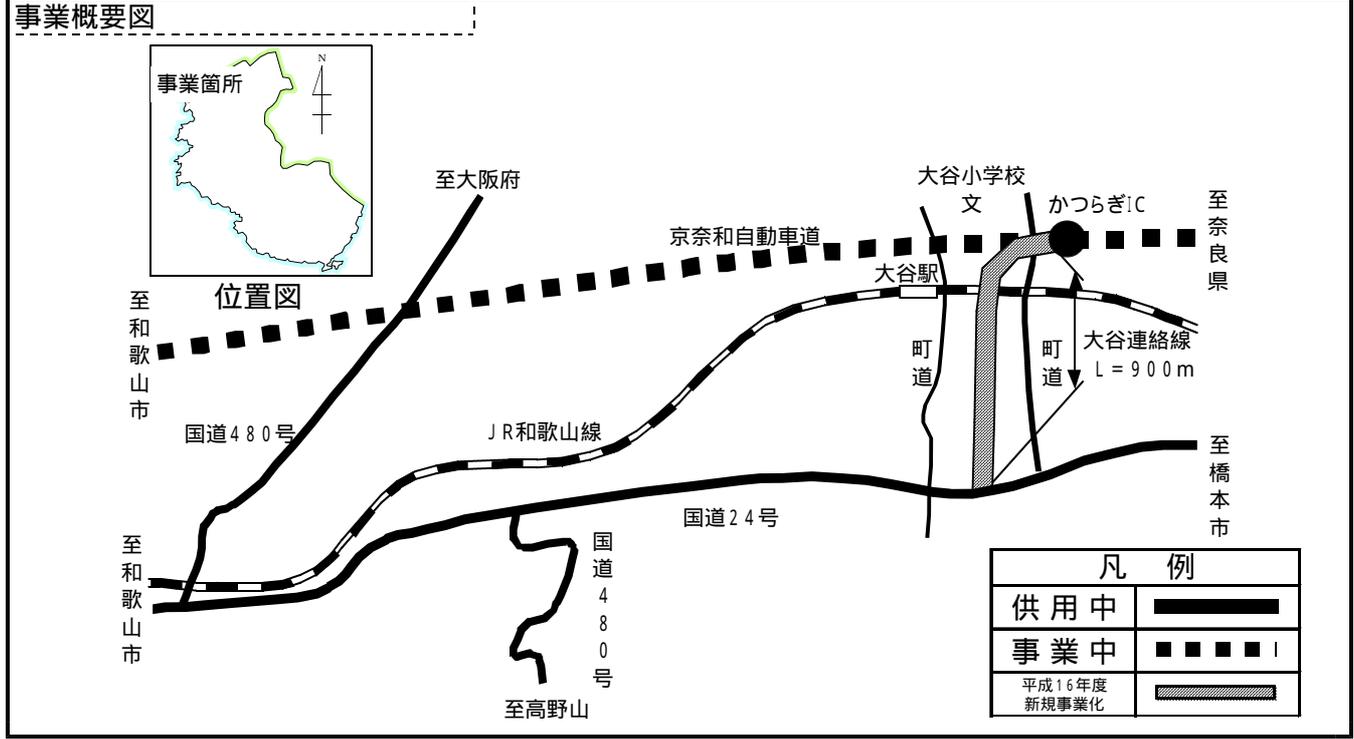
事業の目的、必要性
町道大谷連絡線は、一般国道24号と京奈和自動車道を直結し、現在事業中の大阪府との府県間道路である一般国道480号とともに、かつらぎ町やその周辺地域と京阪神とのアクセスの向上により、当地域の産業や観光の振興、活性化に大きく寄与するものである。

全体事業費	20億円	計画交通量	11,800台/日
費用対効果分析結果	B/C 3.6	総費用	20億円 （事業費：17億円 維持管理費：3億円）
		総便益	7.2億円 （走行時間短縮便益：7.7億円 走行費用減少便益：-1.4億円 交通事故減少便益：9億円）
		基準年	平成15年

事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（関西国際空港へのアクセス向上が見込まれる）
- ・物流効率化の支援（生産量日本一を誇る串柿や果樹等の農産品の流通の利便性向上が見込まれる）
- ・個性ある地域の形成（世界遺産登録が予定されている霊峰高野山へのアクセス向上が見込まれる）
- ・他のプロジェクトとの関係（京奈和自動車道かつらぎI.C建設に伴うB区間の建設）

関係する地方公共団体等の意見
町道大谷連絡線は、京奈和自動車道かつらぎI.Cへのアクセス道路として都市計画決定され、代行事業で和歌山県が実施するものであり、かつらぎ町と周辺地域の産業、観光の振興、活性化に寄与するものとして地元自治体の期待が大きく、京奈和自動車道と共に早期整備の要望を受けている。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

